種名	ウ　　メ Prunus　mume 				
分類	落葉小高木～高木　バラ科　サクラ属	俗称		生活型	
分布	中国中部原産				
形態	若枝は緑色で無毛。葉は互生し、長さ 4～9ｾﾝﾁの倒卵形～楕円形で、先端が尖る。縁に細かい重鋸歯があり、両面と葉柄に微毛がある。 花は2～3月、葉に先立って開き、通常白色だが、紅色、淡紅色のものもある。花弁と萼片は5個。雄しべは多数で花弁より短い。雌しべは1個で、子房に密毛がある。果実は直径2～3ｾﾝﾁのほぼ球形で、表面に密毛が生え、片側に浅い溝がある。6月頃、黄色に熟す。果肉は酸味が強い。核はやや扁平な楕円形で、核面に穴が多い。 果実を梅干や梅酒にするほか、仁を薬用に使う。				
類似種					
生育場所	庭や畑で栽培されるが、時に暖地で野生化している。				
繁殖					
他生物との関係					
配慮のポイント					
トピック					
その他	ウメは中国語のﾒｲから転訛したとか、鳥梅からの転訛だとか、朝鮮語のマイに由来するとかの説がある。				
用途	庭木、鉢植え、盆栽、花材、器具･彫刻材。				
	引用文献:『山渓カラー名鑑　日本の樹木』を改変				